

## 令和7年度第3回米子市社会教育委員の会 議事録

日 時 令和8年2月19日(木) 午後2時30分から午後4時30分

会 場 米子市ふれあいの里4階中会議室1・2

出席者

### 【委員(順不同)】

ト蔵久子委員(会長)、内藤英二委員(副会長)、加藤洋子委員、徳永哲郎委員  
今出和史委員、星野章作委員、安部悟委員、湯浅隆司委員、  
(欠席:大野公寛委員、藤原実男委員、内藤旗彦委員)

### 【事務局】

教育委員会 : 浦林教育長、長谷川事務局長

生涯学習課 : 田中課長兼社会教育主事、松永担当課長補佐、佐藤担当課長補佐兼社会教育主事、坂本係長兼社会教育主事、新見主任、前田主任

地域振興課 : 田中課長(兼務)

こども政策課 : 永榮課長、前田主任

人権政策課 : 松本人権政策監

文化振興課 : 山根課長補佐(代理出席)

スポーツ振興課 : 成田課長

## 1 開 会

## 2 教育長あいさつ

## 3 会長挨拶

## 4 議事

(1) 令和9年度中国・四国地区社会教育研究大会(鳥取大会)実行委員会の発足について

(2) 令和9年度中国・四国地区公民館研究集会(鳥取大会)の開催について  
事務局から、上記(1)及び(2)の開催決定及び日時・会場等を説明し、参加を呼びかけた。

(3) 今年1年間の取組報告(各委員より)

委員①: 米子市公式 SNS の運用分析と積極的な情報発信の重要性を提唱。神山高専との交流イベントの実施や、高校生への3Dプリンター指導に取り組んだ。

委員②: 地域の「ヒト・コト・モノ」を活かしたキャリア教育、保小連携、「あいさつ日本一」活動を実施。一斉に教える学び方から、自ら学ぶ土壌づくり(生涯学習)への転換に向けた動きを開始した。

委員③: 社会教育の役割を理解するため、各種研修会へ積極的に参加。行政に対し、社会教育を市民へさらに周知するよう求めた。

委員④: 淀江保育園跡地に防災備蓄倉庫を備えた公園を整備し、防災フェスティバルを開催。また、公民館運営協議会からまちづくり協議会への移行、及び全自治会での自主防災組織の設立（自主防災連合会）を行った。

委員⑤: 学校運営協議会委員としての活動や人権政策課との連携、見守り活動の組織化を推進。小学6年生向けに「渋染一揆」を題材とした人権学習の授業を実施した。

委員⑥: 18年継続している凧揚げ大会において多世代交流を実現。社会福祉協議会と連携し、高齢者の居場所づくり・会話のつながりづくりを目的とした映画上映会を開催した。

委員⑦: 体力測定会、歩け歩け大会、ボッチャ大会を開催し、生涯スポーツや障がい者スポーツを推進。また、中四国大会で導入されていたスマホを用いたリアルタイムな意見収集手法に感銘を受け、自身の活動でも参考にしたい旨を述べた。

委員⑧: 家庭教育支援チームとして子育て支援情報の提供や講座運営を実施。また、多世代が集う子どもの居場所づくりに向けて、公民館や地域活動者へ足を運び協議を行った。

その他意見: 来期以降は委員自身でテーマを設定して話し合うことや、リアルタイムのコメント共有など新しい会議手法の導入が提案された。

#### ○各課のふりかえり

##### 生涯学習課

地域活動がウェルビーイングや社会教育であるという「社会教育の視点」のイメージ統一を図る。

##### 人権政策課

人権を我がこととして捉える機会を提供し、令和7年度の条例全面改正に向けた趣旨理解を促進する。

##### 文化振興課

劇団四季の公演や学校公演、米子城・尾高城等での歴史学習を実施。令和8年10月の米子城三の丸広場完成や、令和10年の山陰歴史館プレオープンに向けた準備を進める。

##### スポーツ振興課

酷暑対策として子どものスポーツ教室を秋季へ移行。米子市民球場の改修（6月リニューアル）や、令和9年9月頃の米子アリーナのオープンが見込まれる。

#### こども政策課

子どもの居場所づくりを行う団体への補助事業を実施。「そうだね運動」「早寝早起き朝ごはん」を掲げた家庭教育支援を開始した。

#### （4）米子市教育振興基本計画の改定について

こども政策課より、令和8年度に予定する計画改定のスケジュールについて説明があった。

#### 5 その他

生涯学習課長より、2月18日開催の鳥取県公民館研究集会（講師：西川正氏）の内容を共有した。参加者をお客さんにせず、主体を作っていくことが「社会教育」であり、人が動くためには安心できるコミュニケーションの場や、「そうだね」といった「応え」が必要であることが報告された。

#### 6 閉会

以上